SINCE 1955
ROVAL

安全データシート

1．化学物質等および会社情報

化学物質等(製品)の名称	水性ローバル　塗料液
会社名	ローバル株式会社
住所	大阪府交野市幾野 6 丁目 41 番 1 号
担当部門・担当者	技術サービス部
電話番号	072-892-7791
FAX 番号	072-892-6391
緊急連絡先	072-892-9955
作成・改定	2015 年 10 月 6 日
製品の種類	水系有機形ジンクリッチペイント(高濃度亜鉛末塗料)用塗料液
用途と使用上の制限	亜鉛めっき代替・補修及び鉄部さび止め用塗料

2．危険有害性の要約

【ＧＨＳ分類】

物理化学的危険性　　：分類対象外

健康に対する有害性

急性毒性	経口	：区分外
	経皮	：区分外
	吸入(蒸気)	：区分外
	吸入(粉じん又はミスト)	：区分外
皮膚刺激／腐食性		：区分外
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		：区分外
呼吸器感作性（固体/液体）		：区分外
皮膚感作性		：区分外
生殖細胞変異原性		：区分外
発がん性		：区分外
生殖毒性		：区分２
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)		：区分外
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)		：区分２　臓器（呼吸器、肝臓、副腎、腎臓、脾臓、骨髄）
吸引性呼吸器有害性		：区分外
水生環境有害性(急性)		：区分外
水生環境有害性(慢性)		：区分外

※　区分が未表記の項目は、分類できない、又は対象外である。

【ＧＨＳラベル要素】

「絵表示」

「注意喚起語」　　警　告

「危険有害性情報」

・生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い　・長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

「注意書き」

【安全対策】 ●使用前に取扱説明書を入手すること。●全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
●粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。●保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】 ●ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。

【保管(貯蔵)】 ●施錠して保管すること。

【廃　　棄】 ●内容物／容器を法令に従って適切に廃棄すること。

3．組成および成分情報

化学物質の特定　：　混合物

物質名	成分(%)	CAS 番号	官報公示整理番号	PRTR 法
N-ﾒﾁﾙ-2-ﾋﾟﾛﾘﾄﾞﾝ	1～5	872-50-4	(5)-113	－

4．応急措置

吸入した場合　：蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：付着物を布にて素早くふき取る。　大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。　まぶたの裏まで完全に洗うこと。できるだけ早く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合　：誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置者保護　：適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。換気を行う。

5．火災時の措置

【消火剤】　全ての消火剤（※この製品自体は燃焼しない。）

【使ってはならない消火剤】　特になし。

【特有の消火方法、消火を行う者の保護】

適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。指定の消火剤を使用する。高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。消火活動は風上より行う。周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6．漏出時の措置

【人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置】

作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。屋内では換気をしっかり行う。屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

【環境に対する注意事項】　河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

【封じ込めおよび浄化の方法・機材】

スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への流出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7．取扱いおよび保管上の注意

【取扱い】換気のよい場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

【保管】日光の直射を避ける。通風のよいところに保管する。盗難防止のために施錠保管する。子供の手の届かないところに保管する。火気、熱源から遠ざけて保管する。

８．ばく露防止及び保護措置

物質名	管理濃度	許容濃度	
		日本産衛学会	
N-ﾒﾁﾙ-2-ﾋﾟﾛﾘﾄﾞﾝ	―	1 ppm	4mg / m^3

【設備対策】

屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。

【保護具】

呼吸器の保護具　：作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
目の保護具　：取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚及び身体の保護具　：取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

９．物理的及び化学的性状

物理的性状(状態)	：液体	物理的性状（色）	：黄褐色透明
臭い	：特有な臭い	pH	：データなし
沸点（初留点）(℃)	：データなし	融点・凝固点（℃）	：データなし
引火点（℃）	：データなし	燃焼又は爆発範囲（%）	：データなし
蒸気圧	：データなし	蒸気密度	：データなし
比重	：1.0	溶解度	：データなし
自然発火温度（℃）	：データなし	分解温度（℃）	：データなし
n-ｵｸﾀﾉｰﾙ/水分配係数	：データなし	燃焼性	：データなし
不揮発分（重量%）	：21.5	蒸発速度	：データなし
アミン価	：データなし		

１０．安定性及び反応性

安定性　：通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性　：特に情報を有していない。
避けるべき条件　：直射日光
混触危険物質　：特に情報を有していない。
危険有害な分解生成物　：燃焼により、CO、NOx を発生する。

１１．有害性情報

【急性毒性】

物質名	経口	区分	経皮	区分
N-ﾒﾁﾙ-2-ﾋﾟﾛﾘﾄﾞﾝ	3.5 g / kg	区分外	6.0g/kg	区分外

物質名	吸入(気体)	区分	吸入(蒸気)	区分	吸入(粉じん又はﾐｽﾄ)	区分
N-ﾒﾁﾙ-2-ﾋﾟﾛﾘﾄﾞﾝ	分類対象外		分類できない		>5.1mg/L	区分外

物質名	皮膚腐食・刺激	眼損傷・刺激	呼吸器感作性	皮膚感作性
N-ﾒﾁﾙ-2-ﾋﾟﾛﾘﾄﾞﾝ	区分２	区分 2A	分類できない	区分外

物質名	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性
N-ﾒﾁﾙ-2-ﾋﾟﾛﾘﾄﾞﾝ	区分外	分類できない	区分２

物質名	特定標的臓器（単回）	特定標的臓器（反復）	吸引性呼吸器有害性
N-ﾒﾁﾙ-2-ﾋﾟﾛﾘﾄﾞﾝ	区分３（気道刺激性）	区分２（骨髄、脾臓、肝臓、呼吸器、副腎、腎臓）	分類できない

１２．環境影響情報

一般注意事項　：漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱に注意する。
　　特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処する。

生態毒性：

物質名	水生環境有害性（急性）	水生環境有害性（慢性）	オゾン層への有害性
N-ﾒﾁﾙ-2-ﾋﾟﾛﾘﾄﾞﾝ	区分外	区分外	分類できない

残留性・分解性：混合物としてデータなし
生態蓄積性　　：混合物としてデータなし
土壌中の移動性：混合物としてデータなし

１３．廃棄上の注意

【残余廃棄物、汚染容器及び包装】

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理する。
容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理等により、発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

１４．輸送上の注意

国連番号、国連分類：国連番号に該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件：危険な荷物には該当しない。

１５．適用法令

消防法　　：非危険物
労働安全衛生法　：
有機溶剤中毒予防規則（有機則）　　該当しない
特定化学物質等障害予防規則（特化則）　該当しない
鉛中毒予防規則（鉛則）　　該当しない
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：本製品には PRTR 対象物質を含有していない
毒物及び劇物取締法　：該当しない
航空法　　：該当しない
船舶安全法　　：該当しない
海洋汚染防止法　　：該当しない
その他の法令　　：該当しない

１６．その他の情報

【注意事項】

本データシートは、作成時または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報を集めて作成しておりますが、すべての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改定いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

【参考資料】

中央労働災害防止協会安全衛生情報センター GHS モデル MSDS 情報
製品評価技術基盤機構 GHS データベース他
国際化学物質安全性カード(ICSC)、Hazardous Substances Data Bank (HSDB)
社団法人 日本塗料工業会の MSDS 用物質データベース(混合物用、塗料用)
原料供給者から提供された MSDS

以　上